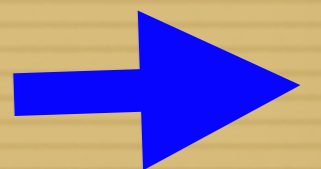
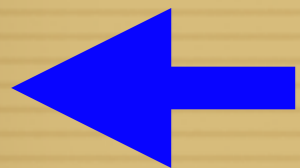


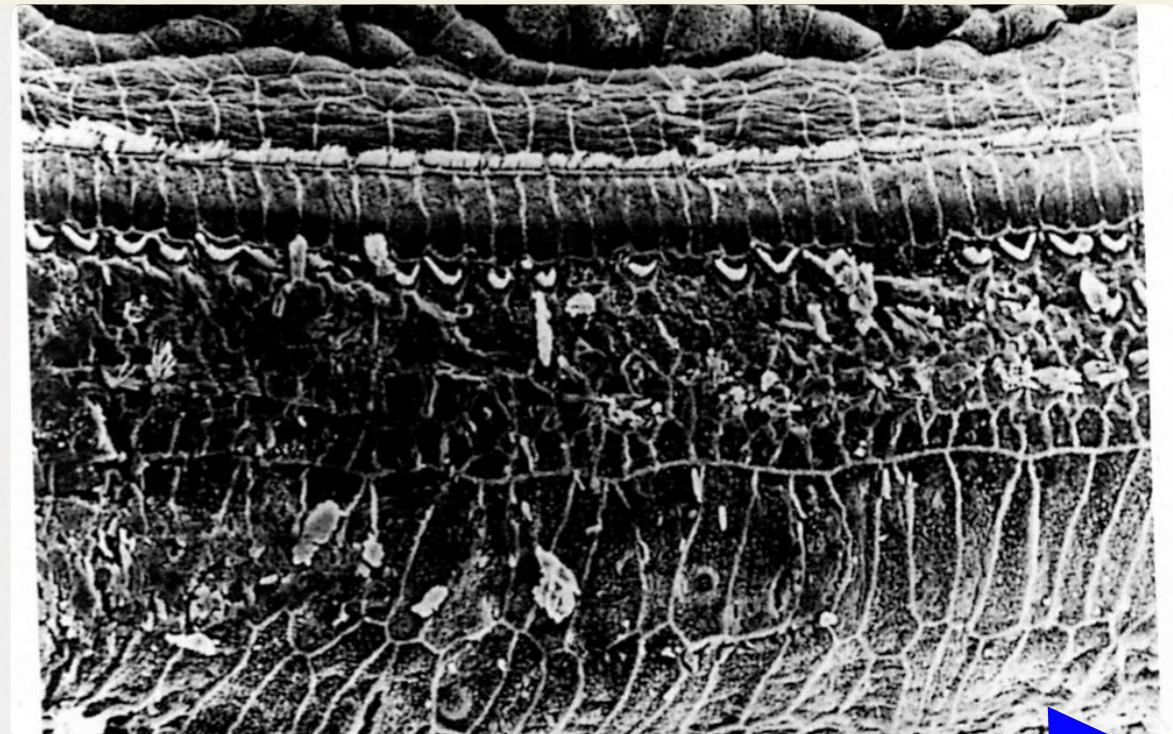
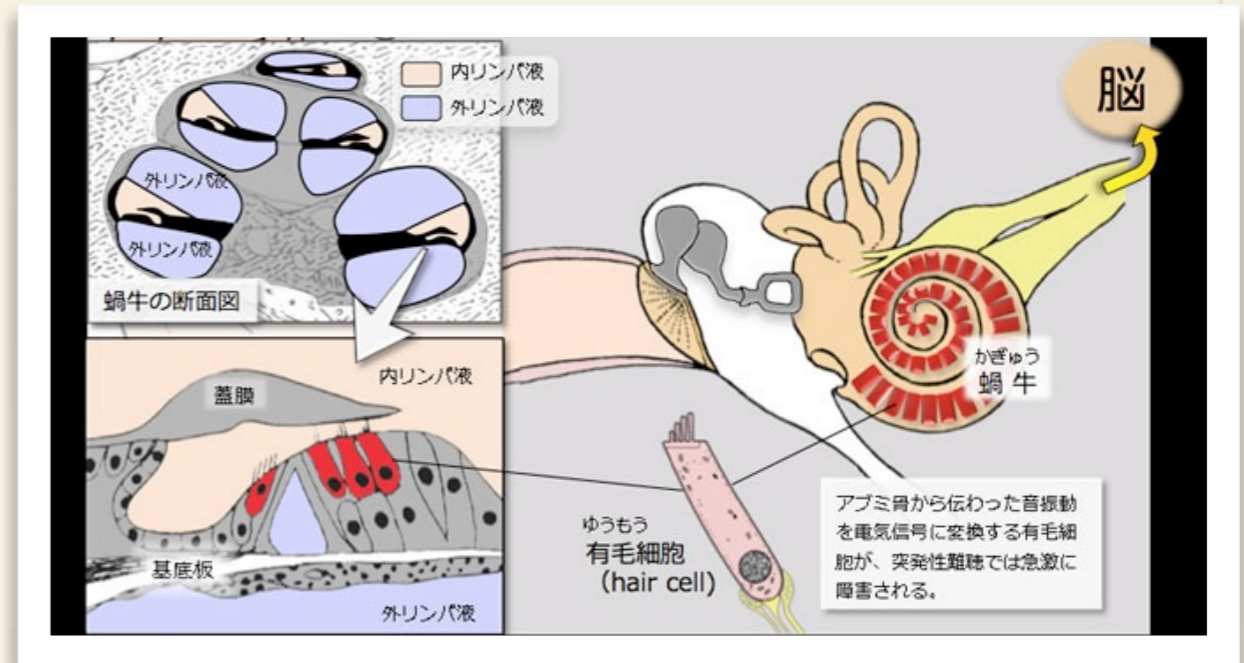
突発性難聴

やまおか耳鼻咽喉科



突発性難聴とは

1. ある日突然、片耳の聞こえが悪くなります
2. 耳の詰まった感じ、音の響く感じ、耳鳴だけのこともあります
3. 原因は不明
4. 内耳の障害です
5. 有毛細胞が障害され早く治療しないと治らなくなってしまう



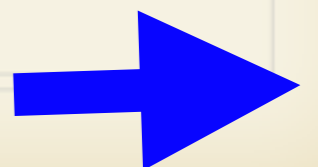
治りますか？

治りの良い条件

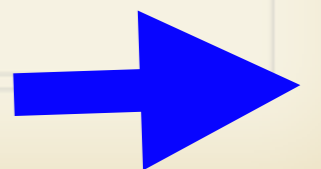
治る確率 ～ステロイド治療をして～

- | | | |
|---------------------------------|------------|-------------|
| 1) 治療開始までの 期間が短い (1週間以内) | 聞こえが完全に戻る方 | 3分の1 |
| 2) 年齢が 若い | 完全には戻らない方 | 3分の1 |
| 3) 難聴の程度が 軽度 | 全く改善しない方 | 3分の1 |
| 4) めまいがない | | |

1. 必ず治るわけではありません
2. 治らなければ、症状は一生続きます
3. 治療のチャンスがあれば、できるだけ可能性にかけましょう
4. 後から治療をすることはできません



- ～ 糖尿病・高血圧・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・緑内障
- ～ B型肝炎・そのほかステロイド剤を使ってはいけない
病気がありますか？



入院治療か外来治療か

入院治療：難聴が高度な方

外来治療：軽度の方、低音障害型の方

～ 入院治療のメリット

～ 安静がとれる

～ 治療の選択肢が広がる

～ ステロイドの量が増やせる

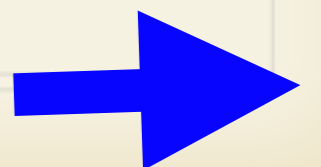
～ 後悔が少ない

～ 入院治療のデメリット

～ 約2週間から1ヶ月間

入院しなければいけない

～ できるだけ早く入院しなければならぬ できれば今日から



治療方法（外来）

～ <安静>

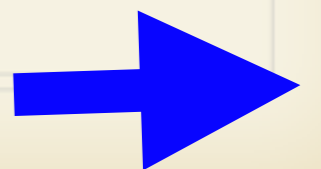
～ <ステロイド治療>

～ <神経機能改善剤>

～ 一番大切

～ 特効薬？きちんと飲んでいただくことが前提

～ 聞こえの神経保護



治療方法（外来）

メニエール病の疑い・低音障害型難聴の方

～ <安静>

～ <浸透圧利尿剤>

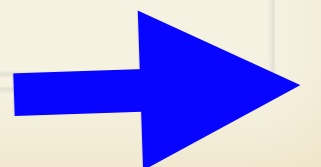
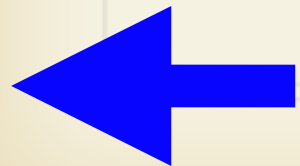
～ <神経機能改善剤>

～ 一番大切

～ 内耳のむくみを引く
味がまずい

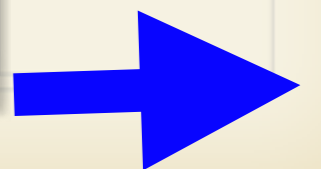
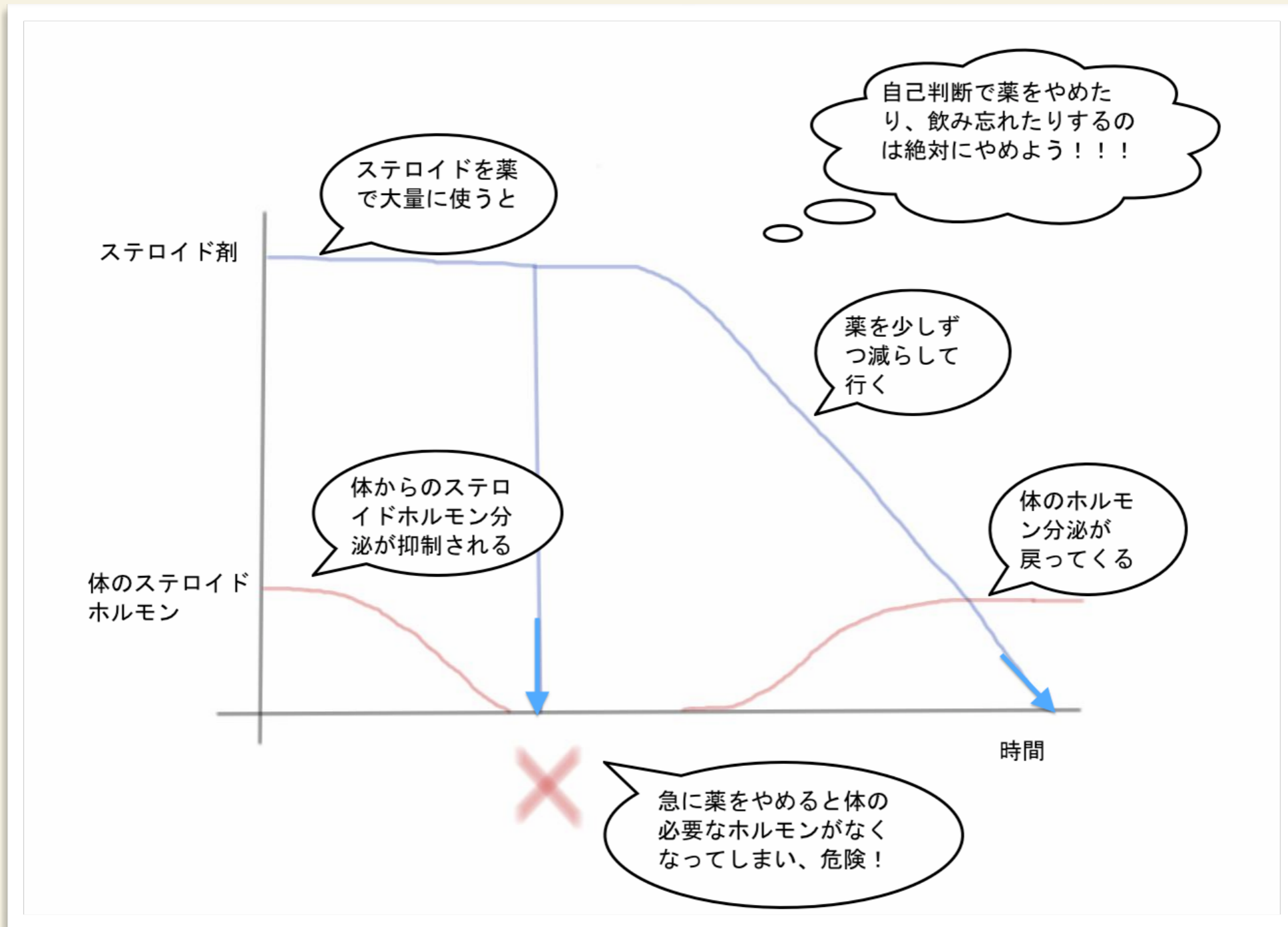
効かなければステロイド
治療へ

～ 聞こえの神経保護



ステロイド剤の飲み方

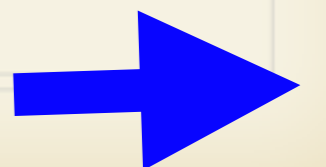
〜 **決められた量を決められた通りにきちんと内服**していただくことが重要



ステロイド治療の副作用

- ～ 易感染性
- ～ 消化性潰瘍・糖尿病、高血圧、緑内障の悪化
- ～ ニキビ・顔のむくみ
- ～ 精神神経症状（不眠・ハイテンションになる）
- ～ B型肝炎の悪化(全員血液検査による感染の確認が必要)
- ～ など

ステロイド治療をしないことは、聞こえをあきらめることにもつながるため、正しい理解の上、治療を受けることをお勧めします



他に考えられる病気

- ～ **メニエール病**の初回発作、**外リンパ瘻**、**聴神経腫瘍**、**脳梗塞**、**脳出血**、全身疾患に伴う障害（**糖尿病**、**膠原病** 他）等
- ～ MRI検査をしてみるかどうか

